

登録コード	HB492100	開講年度	2026					
授業題目	脊椎脊髄病学特論				担当教員	高橋 淳 他		
英文授業名	Spine and Spinal Cord Science				副担当	下平 浩揮・林 正徳・池上 章太・岡本 正則・大場 悠己		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)			
	2026HB4年制加							
	【専攻】医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				脊椎外科領域臨床研究のテーマの選び方、研究目的、方法、結果のまとめ方、考察の書き方ができるようになる。さらに、脊椎脊髄病臨床とつながる基礎研究のテーマの選び方、実験手法、結果の解釈につき概説する。			
(2)詳細/Detailed information	脊椎外科領域の臨床研究のテーマの選び方、研究目的、方法、結果のまとめ方、考察の書き方について概説する。さらに、脊椎脊髄病臨床とつながる基礎研究のテーマの選び方、実験手法、結果の解釈につき概説する。							
(3)授業の概要/Overview of course	運動機能学分野の中でも、体幹を支持、運動させ、かつ脊髄の保護器でもある脊椎についての構造、力学的特性、生化学的特性、そこに生じる疾病（椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、脊椎腫瘍、脊椎炎、脊椎外傷、側彎症を含む脊柱変形、先天奇形、代謝異常に伴う脊椎疾患、脊椎病変）による脊髄への影響などについて、講義、抄読会、実習などによって理解を深める。脊椎外科領域の臨床研究のテーマの選び方、研究目的、方法、結果のまとめ方、考察の書き方について概説する。							
(4)授業計画/Course plan	(オムニバス方式/全 1 5 回) (高橋 淳 / 3 回) 脊柱変形について (大場 悠己 / 2 回) 胸椎疾患について (下平 浩揮 / 2 回) 骨粗鬆症性脊椎疾患について (林 正徳 / 2 回) 末梢神経障害について (池上 章太 / 3 回) 頸椎外科について (岡本 正則 / 3 回) 腰椎外科について							
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	自律的な知識獲得を実現する手法について理解できているかを発表資料（3割）、プレゼンテーション（3割）、討論（4割）で成績評価する。							
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	得点法による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀、89～80% 優、79～70% 良、69～60% 可、59%以下 不可							
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容/Notes	英語文献調査後、文章資料・発表資料を英語で作成してもらいます。毎回の講義で、パソコンを用いてレポート（WORD、PPT等）を作成し、メールを用いて提出することが可能な環境を準備すること。							
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	オフィスアワーは毎週変更されうるので、メール等での時間変更の後、居室まで来室のこと。 なお、授業中あるいは授業の直後は直接質問してもらって良いです。なお、開始前は授業準備で時間がとれないことが多いです。							
(9)授業の形式/Course format	パソコンを用いてレポートを作成し、メールを用いて提出することが可能な環境を準備すること。							
【教科書/Textbook(s)】	指定しない。							
【参考書/Reference work(s)】	指定しない。							